

令和7年2月28日

うきは市議会
議長 江藤 芳光 様

総務産業常任委員会
委員長 岩淵 和明

委員会調査報告

令和6年第4回うきは市議会定例会において、閉会中の継続調査申出の所管事務調査を行ったので、うきは市議会委員会条例第36条の規定により、下記のとおり報告する。

記

【調査報告 1】

○市有林の実態に関する調査

1、日 時 令和7年1月23日(木曜日)

2、場所及び調査事項

①市有林平山団地(八女市星野村) 現地調査

②うきは市森林整備計画に関する質疑 うきは市議会第一委員会室

3、出席者

総務産業常任委員6名、浮羽森林組合事業推進室長1名、農林振興課2名、事務局1名

4、調査要旨

うきは市の総面積の50%を占める森林面積は5,929ha になりますが、市有林が363.67haで6.1%を占めています。一方、市外にも174.36haあり、管理状況について現地視察を実施し、令和6年4月に更新したうきは市森林整備計画について、質疑を行いました。

5、主な意見と内容

【平山団地現地調査後の質疑】

Q:平山団地は計画に基づいてということになっていると思うが、切り出したものはどのようなルートで市場に流しているのか教えていただきたい。

A:市が指定しているわけではないが、浮羽森林組合のほうで売り先は決めているところではある。今切ったものは多く県森連浮羽事業所、道の駅の裏の辺りにある原木市場に搬入をしている。そこで月に2回競りにかけられて、売上げは市に最終的に事業が終了した段階でお金として入ってきている。木材原木市場からどなたが買われているかについては、追跡はしていない。

Q:それは決算書に出ているか、また売払い量はわかるか。

A:市有林保育事業には出てこない。成果表30ページ、立木売払収入2,029万2千円。

売払いについては成果表255ページ、量は出ていないが主伐・間伐の面積は記載している。成果と課題の欄に支出 17,761,700 円、収入 21,918,999 円と記載している。

Q: 実質のもうけとしては 400 万円ということでしょうか。

A: 八女市の市有林のもうけとしては 400 万円程度になる。

Q: 平山団地は保安林指定されているのか。

A: 八女市の市有林も指定されているところのほうが多い。ただ、保安林の中でも皆伐できる施業指定になっており、皆伐した後必ず植えるようにという施業指定になっている。

【うきは市森林整備計画について】

① 整備計画について

Q: 森林整備計画は森林法に基づいて作ることになっていると思うが、うきは市の森林所有者に対しこの計画に基づいて指導を行うということでしょうか。

A: 森林法に基づいて制定しているもので、5 年ごとに作成する計画。10 年を 1 期とする計画で、これに基づいて指導を行う。

Q: 新しく計画を更新する場合、山主への説明はどうされているか。

A: 個別にはしていない。森林組合と委託契約を結んでいる山主が多いということから、森林組合に方向性についての協議は行っている。それを踏まえて作成した計画のパブリックコメントなど一定期間の公表を経て成立している計画ではある。

Q: 8つの経営計画区域があるが、それぞれに代表者の組織というのはできているのか。

A: 計画については組織的なものではなく、森林組合に委託した森林所有者の森林の一覧という形になっている。個々の森林所有者と森林組合が連絡を取って定め森林組合が行うという計画。

Q: 計画書というより指針ではないのか。7つの項目のうち 1、4、7 に力を入れていくということだが、資料4のどの地区をどのようにという計画があるのか。この計画はマニュアルとしかとれない。

A: そもそも県の地域森林計画にのっとって市が作成しているもので、計画というより指針という性格を持った計画であるところが大きい。この森林整備計画が個人の持っている森林に係る計画で、それを踏まえて市町村ができる指導の記載にとどまっている。

Q: 実際経営計画は主体的にどこが作るものか。

A: 主体的には森林組合に作ってもらっている。

② 担い手人材確保について

Q: 担い手の人材確保は現実課題だろうと思うがどうか。若手の関心は少しずつ出てきているものなのか。全体的に見てどうか。

A: 森林組合) そのとおり。課題である。感覚としてはかなり興味を持って入ってきているところはあるが、一方で実際入ってみると過酷な労働環境があるので、そこをどう軽減していくか。特に夏の下刈りがとても耐えられるような仕事ではないと言われているので、

機械を入れるか、あるいは装備するものを変えとか、技術的などところも含めて今後組合としてもサポートしていきたいと思っている。

Q: 農業のみならず林業も集約化していかないと、効率化や生産性、経営的にも厳しいかと思うが、その辺りの動きや必要性の認識は。

A: 森林組合) 10 年以上前から、国のほうでも施業の集約化に取り組むようにということが始まっていた。様々な補助事業関係も集約化しないと対象にならないところもあるので、積極的に取り組んできてはいたが、生産性を上げる、作業の安全性を上げるということにはつながっていないのではというところがあった。2 年ほど前から専門コンサルの方に来ていただいて、団地の組み方を根本的に組みなおして妹川地区で取り組んでいるところ。100ha 規模で施業展開し、小規模で今まで断念された方も収益が得られるようにというところに取り組んでいる真最中である。未整備の森林や手入れが難しかったところの解消と労働環境の改善というところに併せて取り組んでいきたい。

③ その他

Q: 自伐型林業に興味を持たれている方も結構おられる。自分の持分と他の人の分も管理しながら択伐を繰り返して、長年細々と林業ができるという生き方がよそでは増えている。うきはではそういう方に対する受け入れはできるのか。

A: うきは市では管理を森林組合が請け負っているところが多いので、逆に入ってきたらいいところは現状としてあるかと思う。ただ、自伐型林業の方が択伐メインで壊れにくい道づくりをするという施業・活動については、災害の危険性の心配も大きくなっていく中ではその施業の仕方は広まったほうが良いと思っている。入っていきづらいところはあるので、どう推進を受け入れていけばよいか考えていきたい。

Q: 市はうきはの山全体を16人で管理できているのか。目指すべき森林資源の姿として、水源涵養機能を大事にしていけないといけないと思う。

A: 水源涵養を一番大事にしていけないといけないところで、計画の中でも全域を水源涵養に指定している。水源涵養を維持するためにも森林の中で働いてくださる森林組合や一人親方、職員が必要になってくる。

A: 森林組合) 16名の現状の担い手で足りるのかというと、個人の方もいらっしゃる。全体でいくと会社の方もいらっしゃる。直接雇用だけでなく個人で請負されている方もいて、50 人程度働いていらっしゃる。働き方はそれぞれ希望される形があるので、選べるようサポートしていきたい。多ければ多いほどいいかという、切りすぎると山としての在庫が減りはげ山になってしまう。成長量に対して供給量が過剰になってしまうので、極端に労働者を招くところは避けたい。伐採量は決めておかないと、水源涵養機能が損なわれるリスクはある。

6、所見

市外にある市有林は、令和3年から搬出間伐を中心に、切捨間伐、主伐を実施し、新たに植栽を実施していました。比較的緩やかな傾斜の団地であり、5齢級～12齢級にかかる伐採を計画的に実施している状況を確認しました。質疑Q&Aに成果表の内容を記載していますので、お読み取り下さい。

木材は長い年月をかけて森林保育管理が必要な産業との認識をしました。うきは市森林整備計画は、令和6年4月更新で、豪雨災害頻発化の中で、災害・環境を考慮した課題を加筆し、変更されていますので、議員の皆さんには読取確認をお願いします。

今回の調査質疑の中で、整備計画というよりは「指針」ではないかとの指摘がありました。8つの区域の経営計画がどのように作られているか確認が必要で、予算・決算にどのように連動しているか今後の調査課題と考えています。また、林産業の振興については、小規模林業支援事業の周知への課題、活性化事業については加工事業支援のあり方について、先進事例を学び、計画性を持って実施できるよう望みます。

【調査報告 2】

○地域おこし協力隊の活動及び今後の目標に関する調査

1、日 時 令和7年2月10日(月曜日)

2、場所及び調査事項

①地域おこし協力隊制度とうきは市の現況について (うきは市議会議事堂)

②地域おこし協力隊の活動報告発表 (同上)

3、出席者

総務産業常任委員6名、厚生文教常任委員1名、うきはブランド推進課5名、
農林振興課2名、生涯学習課1名、地域おこし協力隊員7名、事務局2名

4、調査要旨

現在14名の協力隊員がミッション(果たすべき役割・任務)に従事しています。

令和7年3月でミッションを終了する職員は7名になります。議会として成果を公表する機会を設け、活動内容や困難など受け止めた上で、お礼と激励を兼ねて実施しました。

5、主な意見と内容

(1)うきはブランド推進課より地域おこし協力隊制度とうきは市の現況について説明

Q:地域おこし協力隊の一番の目的は定住か、ミッションをクリアすることなのか。

A:地域をおこすことがミッション。その上で2つミッションがあり、どちらに重きを置くかは自治体で考えられることかと思うが、どちらも重いと考える。

(2)地域おこし協力隊より活動報告(報告5分～質疑応答10分)

1. 地域型果樹振興プランナー 鶴田 晃基(農業 果樹)

Q:1町8反とは大変な面積で、1人でされているとのこと。人材を確保・費用等、本当にこれ大丈夫か率直な思いを伺いたい。

A:借りているのが1町8反。そのうち3反が「すもも」の新植で、5反は幼木なので収穫ができない。実質柿が1町ほどしかない状況。剪定は8反ほど終わっている。

Q:危惧しているのが、なかなか従業員がいないし家族でしているところでも跡継ぎが少ない状態なので、厳しい状況に置かれるのかなと心配している。頑張ってもらいたい。

A:JAに卸すのであれば単価はまだ低い部分はあるが、自分は全部個人の販路に卸すので、JAの単価の少し上ぐらいの単価で取引する。

Q:地域おこし協力隊を公募するときに、新鮮に農業をやっていただく人を3年間で育てて独り立ちしていただくような公募の在り方もあっていいと思う。荒廃地をつなぐマッチング、働ける場所をきちんと確保した上で何人募集しようということが出てくると思うが、農政係はどう考えているか。

A:農政係)辞める方と入ってくる方をマッチングできればいいが、事前情報をいただいてもなかなか簡単に見通しがつくものではないと思っている。辞める予定の農業者の就農相談は普及センターやJAと併せて行っていきたいと考えている。

2. 森林資源利活用プランナー 高嶋 友季子 (木材産業振興)

Q:うきはに決めた理由は。

A:コンパクトなまちの中に山と町がちょうどよく混在している。また、水道水の安全性が気になっていたのも、地下水は珍しくて安心して自然の中で暮らせるということもポイントだった。住んでから感じているのは、皆さん非常に親切で、今住んでいる家や田畑も全ていろいろな人とのつながりでご紹介いただいて、うきは市の皆さんの良さは来てから実感した。他地域の協力隊の方と交流する機会が何回もあり、市の職員と連携が取りづらいことや市民の方の理解がなかなか得られず活動が難しいという話をよく聞いたので、羨ましがられ、うきはの協力隊はとでも恵まれていることがわかり、本当に良かったと思っている。

Q:椿油の話があった。新興作物にしようということで私も植えて、6次化センターで絞ったが売り方を知らないので在庫がたくさんある。その辺りも教えてほしい。

A:紹介していきたいと思う。椿部会、オリーブオイル部会、きくらげ部会など、せっかく立ち上げてあるのに生かされていないのはもったいないとは感じた。

3. 山村地域資源活用プランナー 大曲 多久 (中山間地振興)

意見:とても喜んでいる。中山間地と流川あたりでイノシシが大変増えており、山春校区でも止め刺しができる人が今3名ほどしかいない。ウキナナも1人なので跡をどうするかという話をしていた。卒業後は、ウキナナに就職予定ということなので、地域でいろいろ指導していただけるとありがたい。また会合があるときはぜひ話をさせていただきたい。

4. 移住促進プランナー 福嶋 彩香 (半農半ビール)

Q:店の場所は。

A:市内初となるブルワリー(ビール醸造所)で、東隈上のパンのミゲルの東隣。

5. うきはラグビータウンプロジェクト支援プランナー 島川 大輝 (ラグビータウンPJ支援)

雇用促進プランナー 後藤 悠太、西村 光太

Q: 西日本新聞で記事が数回にわたって掲載され拠点はどうきは市とあるが、会場が久留米ということで久留米の印象を受ける。市民に自分たちの拠点であるという意識を高めるため、スポーツの醍醐味やラグビーをやり続けるという意味合いで、やはり東校跡地をできるだけ早く整備してほしい。

A: 激励の言葉としてしっかり受け止める。ルリーロはうきはからスタートしたということに至る所で言うようにしている。自分たちの中にもうきはのプライドがあるので、「シビックプライド」、プライドを持って戦っていくというのは1つラグビーを表現の場だと思う。

ラグビーを通じて市民の方々が1人でも増えるよう活動し、しっかりまず地に足つけた戦いを皆さんにお届けできるように頑張っていきたい。

Q: 地元選手の育成が今後のルリーロに課す地域の課題だと思う。究真館高校ラグビーは強くなったが、地元の子は結構少ない。保育園や小学校のイベント等でラグビーを見たりラグビーボールを使ったりしながら、時間がかかるかもしれないがその中から入れば地域の方も応援していくと思う。ぜひ小さい子供たちの裾野が広がるよう指導をお願いしたい。

A: うきはからルリーロの選手を輩出していくのは相当の時間かかるだろうと自覚しているが、いつか大きな夢をかなえられるようなチーム・地域になれば、人材がより羽ばたくようなチームになればと思っている。

Q: 72名の方の生活はどういうことで成り立っているのか。

A: 日中仕事をしながら夜の時間で練習をする。相当大変だろうな、相当苦しいだろうなと思っている。他のチームも同じように働きながらラグビーをしているチームはもちろんあるが、基本的には同じ会社か、若しくはグループ会社数社程度というところなので、ここまで多種多様な業種にまたがって環境の違う中で夜の時間に集まって練習しているという環境でやっているチームは多分他にはない。企業の皆さんもある程度理解していただいているのはいいが、まだまだ他の大企業のチームのように相当な配慮をいただいているわけではないので、通常的一般業務をやりながら、終わった後に練習するということ、非常に苦しい中で生活をしているなというのは選手からも聞くし、ひしひしと感じているところではある。

そのような中でもラグビーの魅力というところと、あとは本当に選手個人個人の思いの部分だと思う。ラグビーをやりたいという強い思いで、リーグワンという舞台で戦いたいという強い思いに支えられて、今チームが動いている部分が非常に大きいのかなと思う。そういった思いで選手たちも集まっては来ているが、我々ここでチームを起こして3年目で常に言っているのは、我々は地域のチームだぞという話をずっとさせてもらっていて、選手も初年度ちょっとよくわかんないな、どういう意味なのだろう地域のチームって、ということからスタートをしていたが、3年たつて選手の意識もかなり変わってきて、地域

のイベントも130程度、毎年毎年出るところの参加率も非常に上がってきており、選手のマインドも他の企業チームにはない地域クラブとしてのラグビーチームというところだといふフィットしてきたのかなと思う。苦しい中でも何を背負って戦っているんだというところの意識が今選手の中にも大きく芽生えてきているところだろうなというふうに感じている。選手の生活は本当に一人一人を見ると非常に苦しい厳しい中だが、いろいろなものを背負いながら、今戦ってくれていると感じている。

Q:今日の発表内容を聞いていると、私たち議員が聞くことも大事だが、例えばホールで市民に明確にお伝えする必要があるのではないかと思うがどうか。

A:午前中毎月の定例ミーティングを協力隊と所管で行ったところ。市長が来られて正に市長も同じ意見であった。来月のミーティングを今度は市民向けに公開でやりたいと思っている。

6. 歴史まちづくりプランナー 三角 俊喜

Q:昨年発表していただいた際に、菊竹六鼓記念館は重要な建物なので残すという話だった。再度伺いたい。

A:経緯としては、1962年か1963年に読売新聞社や西日本新聞社、そういったところの寄付金や浄財を得て出来上がった建物で、実に様々な方々の熱意や愛情を持って出来上がっていることにまず1つ価値がある。造りとしても、1960年というRC造りが台頭してくるような時代だが、RCの柱・梁の構造に対して伝建地域の木造の文化が融合しているちょうど過渡期に当たるような作品だと思っている。RCの骨組みでありながら、木星の建具と和室がひっついていてというのは結構レアケース、自由な存在。もしかしたら菊竹清訓さんという、日本でも有数の有名な久留米市出身の建築家が何らかで携わっているのじゃないかということで、今久留米市と文化庁、県の方々で歴史やその背景を調査いただいている。

Q:そのことは行政のほうにも積極的にアピールされているのか。もう統合してなくすというものに菊竹六鼓記念館は入っていると捉えているので。

A:ヘリテージマネージャーという講習で展開はさせていただいて、保存運動まではいかないが、現状維持としてはあそこを使わないと木造の通風やカビが生えてしまうので、一番の保存はそこを活用することなのかなと今考えている。そのために私としてはいろんな協力隊の活動の場として展開したり、ワークショップしたりさせていただいている。

6、所見





地域おこし協力隊の任務終了に当たり隊員の方からは、うきは市の行政・地域は、理解があり活動しやすいと述べていました。協力隊へ応募する際、見知らぬ土地で3年先の姿が見えない「不安感が強い」とも述べていました。ミッション・プランについて、幅と広さを持たせ、地域で生活できる可能性を模索する時間をくれると、定住につながるのではないかと、との声がありました。うきは市は、平成26年度から事業を行って、令和7年3月末で累計35名が従

事し、市内定住者は23名(66%)になり、全国平均は52%です。活動のしやすさは感じるが、やはり、その後の生活への不安のためか、「市外転出」34%(全国35%)、「行き先不明」の比率が17%(全国12.5%)という状況にあります。3年後の若い世代の生活基盤を一時的にも安定化させる支援のあり方が課題と考えます。詳しくは、資料を添付していますので、確認下さい。

最後に、令和5年12月からOB・OGのネットワーク化が設立されているが、ミッションのネットワーク化をはかり、地域の「コア個人事業」から、産業につなげられるような支援を検討することを要望します。

以上

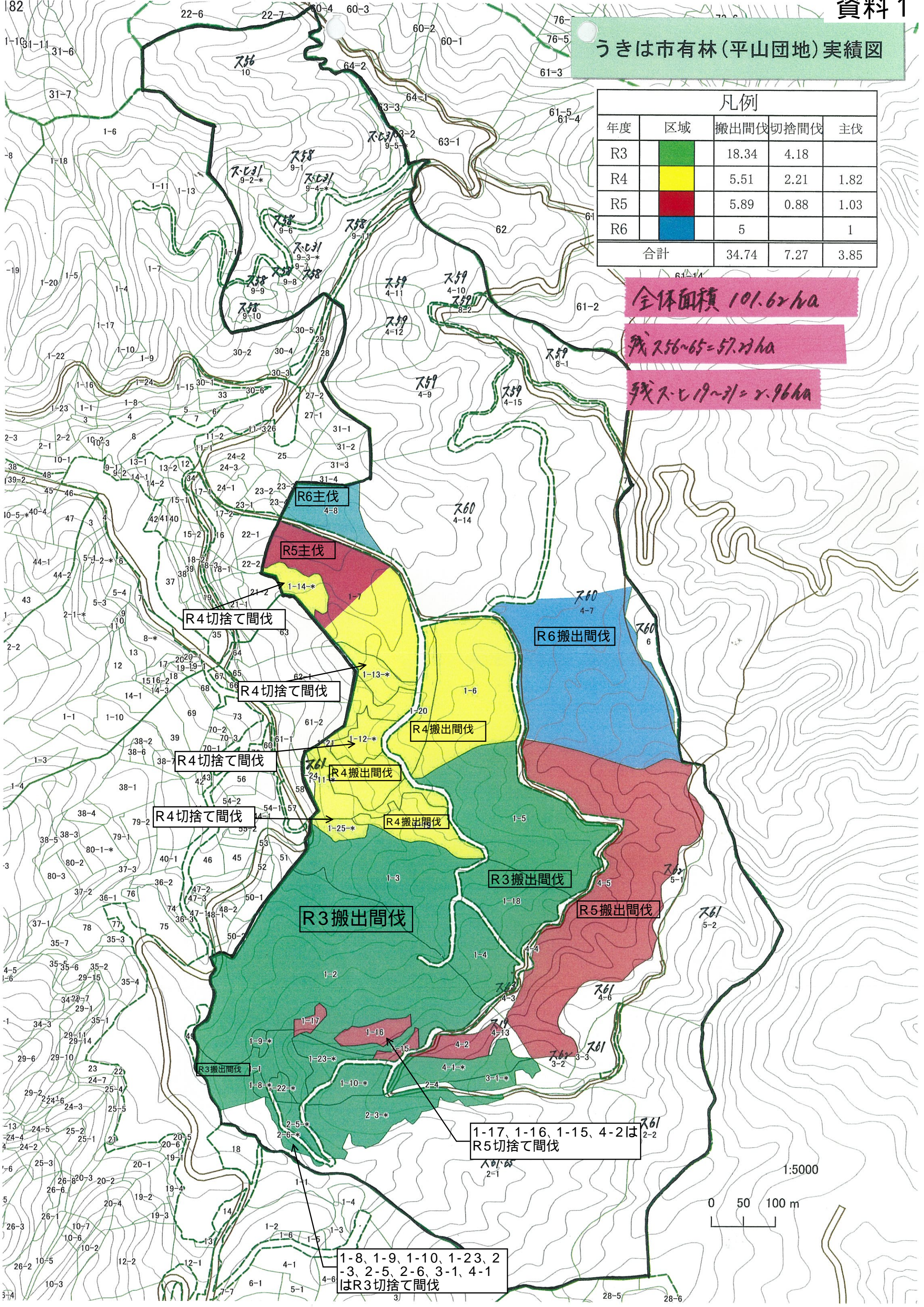
うきは市有林(平山団地)実績図

| 凡例 | | | | |
|----|---|-------|------|------|
| 年度 | 区域 | 搬出間伐 | 切捨間伐 | 主伐 |
| R3 |  | 18.34 | 4.18 | |
| R4 |  | 5.51 | 2.21 | 1.82 |
| R5 |  | 5.89 | 0.88 | 1.03 |
| R6 |  | 5 | | 1 |
| 合計 | | 34.74 | 7.27 | 3.85 |

全体面積 101.62ha

残 R56~65 = 57.23ha

残 R719~21 = 2.96ha



R6主伐

R5主伐

R4切捨て間伐

R4切捨て間伐

R4切捨て間伐

R4切捨て間伐

R3搬出間伐

R3搬出間伐

R6搬出間伐

R4搬出間伐

R4搬出間伐

R4搬出間伐

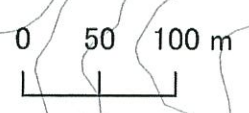
R5搬出間伐

R3搬出間伐

1-17, 1-16, 1-15, 4-2はR5切捨て間伐

1-8, 1-9, 1-10, 1-23, 2-3, 2-5, 2-6, 3-1, 4-1はR3切捨て間伐

1:5000



うきは市有林団地別明細

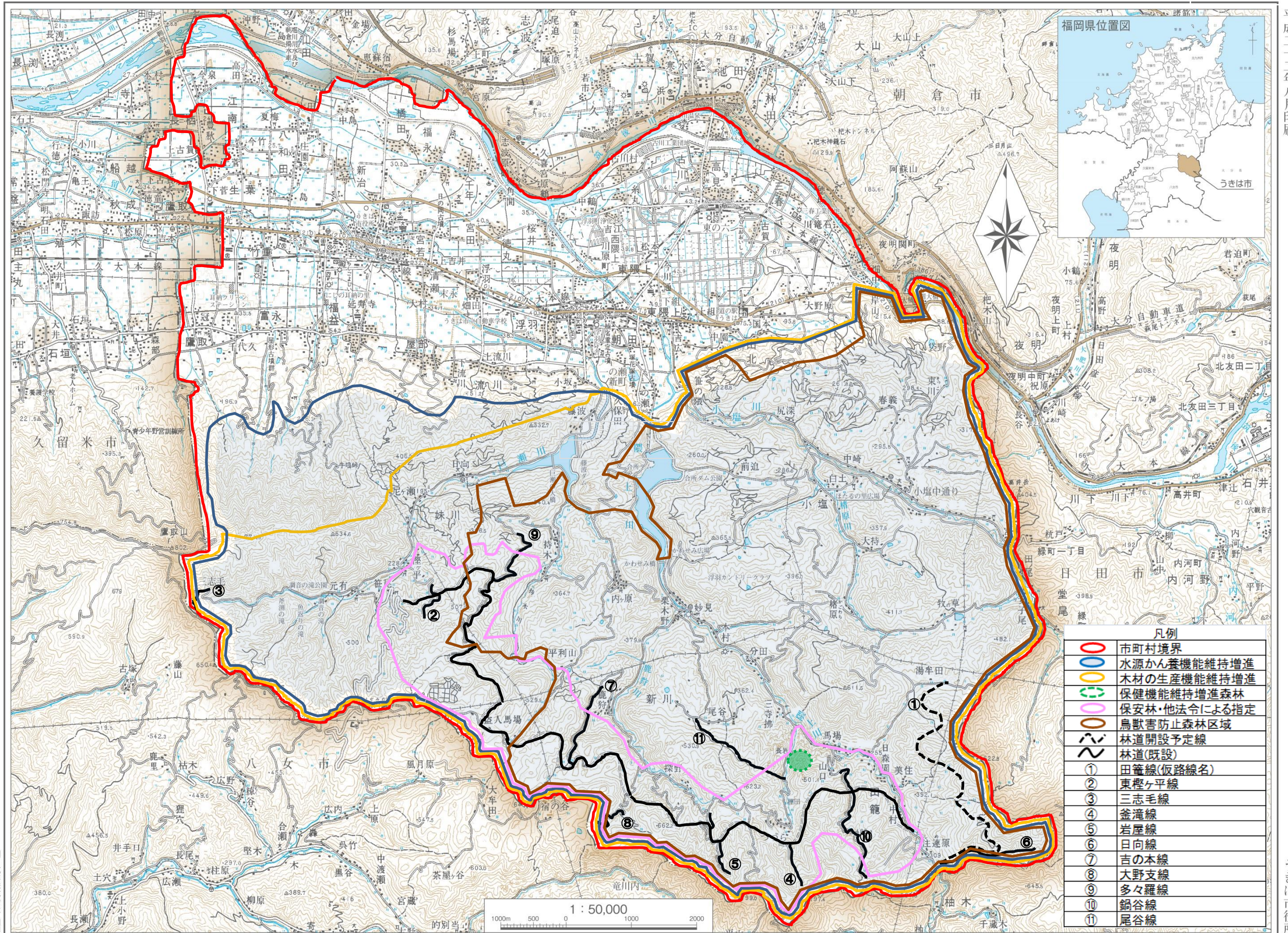
| No. | 団地名 | 総面積 | 樹種 | | | 齢級配置(スギ・ヒノキ) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|---------------------------|--------|--------|--------|-------|-----------------|------|------|-------|------|--------|-------|------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|------|-------|--------|--------|-------|
| | | | ヒノキ | スギ | その他 | 1齢級 | 2齢級 | 3齢級 | 4齢級 | 5齢級 | 6齢級 | 7齢級 | 8齢級 | 9齢級 | 10齢級 | 11齢級 | 12齢級 | 13齢級 | 14齢級 | 15齢級 | 16齢級 | 17齢級以上 | 齢級計 | |
| 1 | 鶴懸団地 | 21.78 | 16.40 | 5.23 | 0.15 | | | | | | 6.63 | | | | 11.92 | 0.52 | 1.14 | 0.08 | 0.70 | 0.21 | 0.43 | | 21.63 | |
| 2 | 妙見団地 | 28.27 | 17.07 | 9.40 | 1.80 | | | | | 2.08 | 0.21 | | | | 0.02 | 6.82 | 1.13 | 0.30 | 6.45 | 1.41 | 6.22 | 1.83 | 26.47 | |
| 3 | 焼尾団地 | 18.11 | 12.00 | 5.77 | 0.34 | | | | | 1.19 | 2.26 | | | 2.05 | | 3.23 | 3.81 | 3.49 | 0.40 | 0.32 | 0.43 | 0.59 | 17.77 | |
| 4 | 上栗平団地 | 7.18 | 5.55 | 1.52 | 0.11 | | | | | | 0.61 | | | 0.69 | | 1.16 | 4.19 | | | 0.02 | | 0.40 | 7.07 | |
| 5 | 小城団地 | 13.56 | 5.30 | 1.53 | 6.73 | | | | | 0.38 | 1.26 | 0.26 | | 0.51 | | | | | 0.26 | | 1.82 | 2.34 | 6.83 | |
| 6 | 大久保団地 | 54.66 | 35.38 | 15.52 | 3.76 | | | | | | 0.81 | | | | 8.43 | 29.88 | 7.47 | 1.82 | 2.49 | | | | 50.90 | |
| 7 | 枝折谷団地 | 14.39 | 8.19 | 6.10 | 0.10 | | | | | 0.56 | | 6.59 | | | 0.24 | | | | 0.95 | 1.25 | 2.08 | 2.51 | 0.11 | 14.29 |
| 8 | 砥谷団地 | 3.51 | 0.00 | 3.51 | 0.00 | | | | | | | | | | 2.13 | | | | 0.51 | 0.56 | 0.20 | 0.11 | | 3.51 |
| 9 | 矢ノ峯団地 | 8.90 | 2.63 | 4.57 | 1.70 | | | | 1.70 | | | | | 1.27 | 4.23 | | | | | | | | | 7.20 |
| 10 | 一条団地 | 14.29 | 12.90 | 0.00 | 1.39 | | | | | | 2.35 | 4.05 | | | 4.46 | | | 0.35 | | 0.61 | 1.08 | | | 12.90 |
| 11 | 平利山団地 | 69.56 | 48.29 | 18.14 | 3.13 | | | | 2.74 | | 7.03 | 4.75 | | | | 3.20 | 20.92 | 22.11 | 1.75 | 0.52 | | 3.41 | 66.43 | |
| 12 | 山の堂団地 | 11.05 | 5.38 | 2.88 | 2.79 | | | | | | | | | | 6.63 | | | | | | | 1.63 | 8.26 | |
| 13 | 笹の隈団地 | 17.39 | 12.19 | 4.78 | 0.42 | | 1.32 | | 1.06 | | 0.37 | 1.61 | 1.54 | 1.33 | | 0.59 | 0.11 | 0.63 | 7.20 | | | 1.21 | 16.97 | |
| 14 | 金石団地 | 6.58 | 0.73 | 5.35 | 0.50 | | 1.07 | | 0.46 | | 0.45 | | | | | 3.02 | 0.21 | | 0.54 | 0.06 | | 0.27 | 6.08 | |
| 15 | 多々羅団地 | 6.44 | 3.85 | 2.28 | 0.31 | 0.50 | | | | | 1.53 | 0.44 | | | | 0.45 | 1.40 | 0.28 | 1.53 | | | | 6.13 | |
| 16 | 堺谷団地 | 14.57 | 10.98 | 2.90 | 0.69 | | | | 0.14 | | 1.68 | | | | | 0.45 | 4.06 | 5.62 | 1.93 | | | | 13.88 | |
| 17 | 盗人馬場団地 | 32.94 | 17.54 | 14.96 | 0.44 | | 0.35 | | 7.00 | 2.86 | 4.69 | 1.01 | | | | | 1.19 | 1.39 | 11.66 | 2.24 | | 0.11 | 32.50 | |
| 18 | 平山団地 つづら探野団地 (うきは市) | 20.49 | 3.84 | 16.07 | 0.58 | | | | 0.54 | 1.98 | 3.29 | | | | | 4.91 | 9.09 | | | 0.10 | | | 19.91 | |
| | 平山団地 (星野村) | 101.72 | 4.44 | 97.12 | 0.16 | | | | 1.02 | | 8.92 | | | | | 4.34 | 49.89 | 37.39 | | | | | 101.56 | |
| 19 | 鬼田団地 | 25.40 | 5.12 | 18.64 | 1.64 | | | | 2.58 | | 7.26 | | | 2.7 | 3.75 | | 1 | 4.01 | 2.36 | | | 0.1 | 23.76 | |
| 20 | 秀山団地 | 38.22 | 10.09 | 25.64 | 2.49 | | | | | | 1.54 | | | | | | | 30.85 | 2.87 | | 0.47 | | 35.73 | |
| 21 | 熊渡山団地 | 9.02 | 0.00 | 4.04 | 4.98 | | | | | | | | | | | | | 2.4 | 0.48 | | | 1.16 | 4.04 | |
| | | 538.03 | 237.87 | 265.95 | 34.21 | 0.50 | 2.74 | 0.00 | 17.24 | 9.05 | 50.89 | 18.71 | 2.81 | 28.33 | 44.19 | 36.16 | 100.31 | 79.25 | 37.20 | 8.24 | 11.52 | 11.90 | 503.82 | |
| うきは市内のみ 総面積合計 | | 363.67 | | | | 29.53 | | | | | 360.65 | | | | | | | 68.86 | | | | | 459.04 | |
| | | | | | | 保育事業(下刈・除伐・間伐捨) | | | | | 間伐(搬出) | | | | | | | 主伐(造林) | | | | | | |

※1齢級(1年～5年生) 2齢級(6年～10年生) ……17齢級以上(81年以上)

※令和6年度現在、造林事業(国庫補助)間伐対象林齢は、スギ70年生、ヒノキ80年生までである。(うきは市森林整備計画に定められる標準伐期齢の2倍の林齢以下)

※木材の搬出を伴う伐採を想定していない長岩、藤波団地は除く。

うきは森林整備計画概要図・林道開設予定図



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平22業複、第289号)」

